

事 業 の 概 要

やまぐち棚田保全モデル実証事業（単県）

◆ 主 旨

多面的機能を有する棚田を、県民の共有財産として後世に継承していくため、市町村等の意向を踏まえて、県内の保全すべき棚田を対象に現況調査を実施し、モデル地区の保全計画を策定、実施・検証を行い、保全するための指針を策定する。

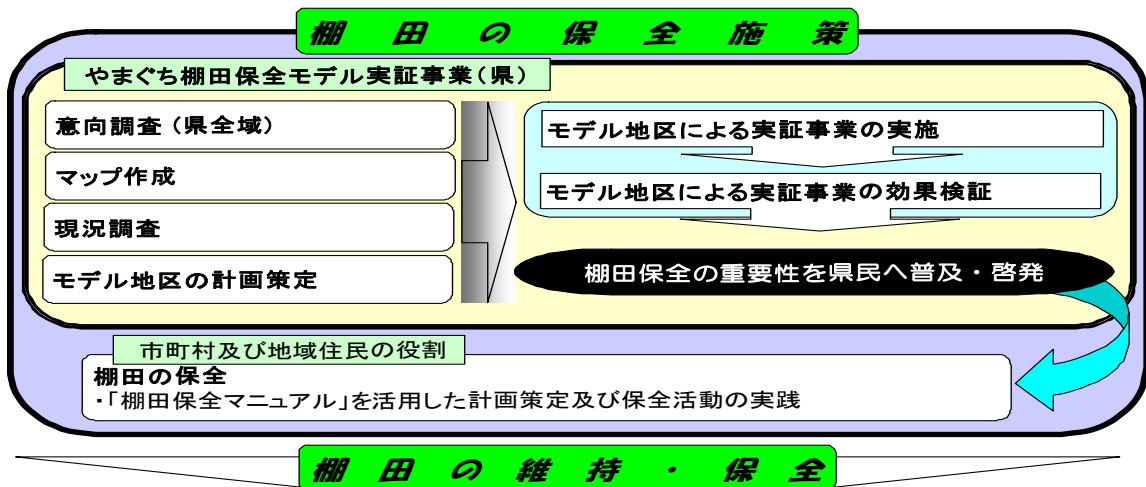
◆ 事業概要

- 事業主体 県
- 事業内容

区 分	事 業 内 容
意 向 調 査	○市町村等へ棚田に関するアンケート調査実施 ○「保全すべき棚田」の選定
マ ッ プ 作 成	○「保全すべき棚田」のマップの作成
現 況 調 査	○「保全すべき棚田」の現況調査を実施
計 画 策 定	○現況調査によりモデル地区を選定 ○モデル地区の保全計画を策定
実 証 事 業	○地域住民の直営施工による保全のための簡易な整備等を実施 ○「棚田保全マニュアル」としての指針を策定
広 報 活 動	○棚田保全の普及啓発

- ◆ 事業実施期間 平成17年度～平成19年度（3年間）

◆ 事業展開イメージ



『棚田』を県民の共有財産として、後世へ継承